



株主・投資家の皆様へ

Keisei Business Report

第183期中間報告 2025.4.1 » 2025.9.30



京成電鉄株式会社

証券コード:9009

CONTENTS

P3-4 お客様、事業エリアのみなさまの
安全・安心の確保に向けた取り組み

P8 他社との連携を通じた、
より住みやすい快適な生活圏の創造

P2 トップメッセージ

P5-7 トピックス

P9-10 数字でみる KEISEI

P11-12 株主優待制度のご案内

P13 営業エリア案内・Pick Up

P14 株主様向けイベントのご案内

本写真は、「サングランデ南流山ザ・コート」のモデルルームです。

※表紙の写真は、左側がスカイライナーご利用6000万人の記念ロゴを装飾したスカイライナーです。右側は右上が京成電鉄バスホールディングス傘下各社のバス車両、右下は左から筑波山ケーブルカー開業100周年の記念ヘッドマークを掲出した車両、墨田区錦糸の賃貸物件です。

京成グループ理念

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

グループ行動指針

安全 私たちは、安全・安心を第一に行動します。
接客 私たちは、あいさつを励行し、お客様の立場にたって行動します。
成長 私たちは、絶えず自己革新し、新たな価値を創造します。
企業倫理 私たちは、すべての人を大切にし、法令・規則を遵守します。
環境 私たちは、自然環境に配慮し、行動します。

グループスローガン

いろんな笑顔を結びたい 京成グループ

トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、
平素より格別のご高配を賜り
厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長 天野 貴夫



第183期中間期(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の業績及び当社グループにおける取り組みにつきましてご報告するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費及び雇用情勢に持ち直しの動きがみられるものの、物価上昇の影響等もあり、緩やかな回復となりました。

このような状況の中で、当社グループは、中期経営計画「D2プラン」(2025～2027年度)を策定し、「新たなグループ経営推進体制のもと、長期ビジョン実現に向け、空港アクセス強化を推進するとともに、外部環境変化への耐性強化を目指す」を中期経営目標として掲げ、諸施策を推進してまいりました。

また、グループ経営体制の強化に向けた取り組みとして、営業力・採用力の強化等を目的に、バス事業、タクシー事業及び茨城県下における事業において、中間持株会社体制へ移行し、タクシー事業が3月1日に、バス事業及び茨城県下における事業が4月1日に新体制で営業を開始いたしました。

さらに、4月1日に、当社の完全子会社である新京成電鉄株式会社を吸収合併いたしました。

これらの事業再編に伴い、システム改修や人的投資の強化等を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は1,646億2千8百万円(前年同期比4.2%増)となり、営業利益は208億2百万円(前年同期比5.8%減)となりました。経常利益は、301億9千6百万円(前年同期比4.2%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、237億2千3百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

当期の中間配当金につきましては、10月31日開催の取締役会決議を経て、1株につき9円とさせていただきますので、ご報告申し

あげます。

当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化、国際情勢等の影響により、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。このような状況の中、長期経営計画「Dプラン」及び中期経営計画「D2プラン」の実現に向け、成田空港輸送におけるトップシェア事業者として、観光先進国の実現等に向けた成田空港の機能強化に伴い拡大が見込まれる空港輸送需要を確実に捉えるべく、輸送力増強への準備を推進いたします。また、将来的な事業ポートフォリオの最適化や不動産事業の強化、事業エリアで進行中の開発・まちづくり事業の推進等により、当社グループの持続的な価値向上を図ってまいります。

また、グループ長期経営課題として、基本的かつ永続的ニーズである安全・安心を根幹とした上で、ビジョン実現に向けた方向性となる①日々の暮らし、②観光振興、③空港輸送、また、基盤整備として④ガバナンス、⑤人材を掲げ、京成グループの事業エリアのみなさまとの共創、及び、日本の玄関口、成田空港の機能強化への寄与を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

当社グループは、グループ経営理念に基づき、「安全・安心」と、お客様に喜ばれる商品・サービスを提供し、沿線を中心とする地域の発展に寄与してまいります。また、コンプライアンス・リスク管理体制を充実させ、内部統制システムの強化に努めるとともに、常に自然環境との調和に配慮するなど、企業の社会的責任の遂行に取り組んでまいります。さらに、お客様第一主義を徹底し、「BMK(ベストマナー向上)推進運動」を浸透させ、選ばれる京成グループを構築してまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

お客様、事業エリアのみなさまの安全・安心の確保に向けた取り組み

ご参考▶

2025年度鉄道事業
設備投資計画

安全報告書2025

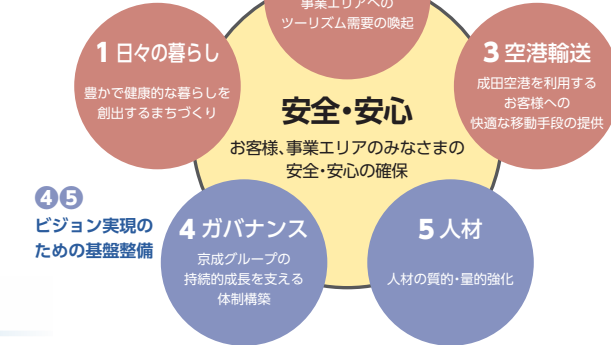
京成グループ
統合報告書2025

京成グループでは、長期経営計画「Dプラン」(2022～2030年度)及び中期経営計画「D2プラン」(2025～2027年度)の根幹と位置付けている「安全・安心」を踏まえ、本計画の重点施策である「災害対策の強化」「お客様の安全を守る取り組みの強化」及び「テクノロジーの活用」に基づき、安全性向上の取り組みを推進しております。本特集では、その取り組みの一部をご紹介します。

長期経営課題

①②③

ビジョン実現に向けた方向性



▶ お客様の安全を守る取り組みの強化

国や自治体と連携した大規模工事の推進

●葛飾区内連続立体交差事業

東京都及び葛飾区とかねてより進めている「京成電鉄押上線(四ツ木駅～青砥駅間)連続立体交差事業」では、昨年11月に四ツ木駅～青砥駅間の下り線において仮下り線に切り替えを実施し、今年度は仮上り線切替に向け、工事を推進しております。この事業により四ツ木駅～青砥駅間の11か所の踏切を廃止することで、交通渋滞の解消、踏切事故ゼロ社会の実現、鉄道により分断されていた市街地の一体化が図られるほか、側道・駅前広場などが整備されることによって、沿線地域の道路状況や生活環境が改善されるなど、新たな魅力あるまちづくりに貢献いたします。

施行ステップ(予定)



●京成本線荒川橋梁架替工事

国土交通省とかねてより進めている「一級河川荒川水系荒川改修事業に伴う京成本線荒川橋梁及び綾瀬川橋梁架替工事」では新設橋梁の基礎杭工事等を推進しております。

水防訓練の実施

当社は、荒川下流河川事務所及び足立区・葛飾区と京成本線荒川橋梁水防活動に関する確認書を2020年に締結しており、この確認書に基づき、2022年度から水防訓練を実施しております。本年は、6月13日(金)列車の運行終了後に止水板設置訓練が実施されました。



止水板の設置完了の様子

取り組み

鉄道施設の安全対策

お客様により安全・安心にご利用いただけるよう、法面補強工事や高架橋及び駅の耐震補強工事等の安全対策の強化を推進しているほか、駅施設のリニューアルや鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー化等、サービス向上に取り組んでおります。

駅工事関係

●京成中山駅

2024年度に耐震補強工事が、本年9月には駅舎建替え工事が完了し、新駅舎である下り駅舎及び改札口の供用を開始いたしました。



●新千葉駅

バリアフリー化工事を推進しており、本年9月に完成した新駅舎改札口の供用を開始したほか、バリアフリートイレの供用を開始いたしました。



●松戸駅

東日本旅客鉄道(株)と共同で、駅舎のリニューアル工事を推進しております。



松戸駅リニューアルイメージ

ホームドア整備関係

駅ホームからの転落や列車との接触による事故を防止するため、青砥駅、京成高砂駅、鬼越駅、堀切菖蒲園駅等のホームドア整備を推進しております。



ホームドア整備済みの押上駅

法面補強工事関係

集中豪雨などにより法面(線路脇斜面)が崩れることを防ぐため、京成成田駅～空港第2ビル駅間等の法面補強工事を継続して実施しております。



工事が完了した京成成田駅～空港第2ビル駅間の一部区間

高架橋工事関係

地震に対する安全性の向上のため、千葉寺駅～ちはら駅間の高架橋の耐震化等を継続して取り組んでおります。



工事が完了した千葉寺駅～ちはら駅間の一部

▶ テクノロジーの活用

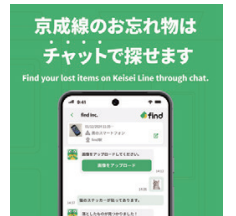
●ドローンの活用

京吾車両基地拡充工事においては、毎月1回ドローンを使用した定点観測を実施し、工事の進捗管理や記録に活用しております。また、例年「年末年始輸送安全総点検」の一環として実施している「異常時総合訓練」において、ドローンを使用して災害現場の状況確認を実施する訓練をいたしました。



●「落とし物クラウド find」の導入

本年4月よりAIを活用したお忘れ物検索サービス「落とし物クラウド find」(株findが提供)を導入いたしました。これにより、当社の駅や列車内におけるお忘れ物が、日本語・英語・中国語(簡体)・韓国語の主要言語に対応しているチャットでお問い合わせいただけるようになりました。



トピックス

運輸業

鉄道事業

京成スカイライナー ご利用“6000万人”を迎え、 記念式典を開催

当社は、2010年7月の成田スカイアクセス開業とともに運行を開始した3代目京成スカイライナーをご利用のお客様が6000万人になったことを記念し、2025年7月「スカイライナーご利用6000万人記念式典」を開催いたしました。

当日は記念すべき6000万人目となられたお客様に花束と記念品を贈呈したほか、6000万人目のお客様がご乗車されたスカイライナー8号のお客様全員に、オリジナルグッズをプレゼントいたしました。

また、式典に合わせて、ご利用6000万人を記念したヘッドマークを掲出したスカイライナー1編成の運行を開始いたしました。

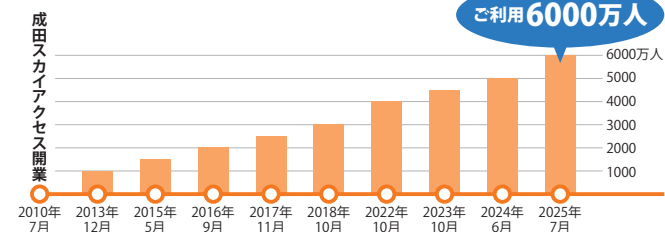


6000万人目のお客様の出発を記念したテープカットの様子



花束贈呈の様子

スカイライナーご利用のお客様数推移(累計)



バス事業

高速バスの新路線の運行を開始

京成バス(株)は富士急グループの(株)フジエクスプレスと連携し、2025年10月より、インバウンド需要に対応することを目的に富士五湖エリア「富士急ハイランド・河口湖」と、東京ベイエリア「お台場・有明・豊洲」を結ぶ高速バスの新路線の運行を開始いたしました。

また、同社はジェイアールバス関東(株)とビー・トランセホールディングス(株)と連携し、東京都心と成田空港を結ぶ高速バス『AIRPORT BUS TYO-NRT』において、2025年10月に実施したダイヤ改正時より、銀座駅と成田空港をダイレクトに結ぶ便の運行を新たに開始いたしました。



タクシー事業

環境にやさしいタクシー車両を導入

当社グループでは、CO₂排出削減、カーボンニュートラル実現に向けて環境に配慮したタクシー車両の導入を進めております。

今般、京成タクシーウエスト(株)では、EV(電気自動車)車両10両を導入したほか、短時間での充電が可能な急速充電器(50kW)を、併せて導入いたしました。

また、帝都自動車交通(株)では、東京都の水素活用促進プロジェクト「TOKYO H2」の一環として、2025年9月に東京都庁で開催された水素で走る燃料電池(FCEV)タクシー車両発表会及び出発式に参加し、燃料電池(FCEV)タクシー車両の稼働を開始いたしました。



燃料電池(FCEV)タクシー車両

不動産業

更なる収益拡大に向けて賃貸施設を拡充

当社では、収益の拡大及び事業基盤の拡充に向け、賃貸事業への積極的な投資を行っております。

環境に配慮したZEH-M認定を受けた都内エリアの賃貸住宅11物件を取得したほか、習志野市津田沼において、今年度中の竣工に向けて大規模賃貸マンション「スカイグランデ津田沼」の建設工事を推進しております。



スカイグランデ津田沼(完成予想CG)

新鎌ヶ谷駅周辺の開発を推進

当社は新鎌ヶ谷駅前において、商業施設の建設工事を推進したほか、分譲マンション「ザ・レジデンス新鎌ヶ谷ターミナルフロント」はおかげさまで完売いたしました。また、「新鎌ヶ谷駅周辺地区市有地活用事業」の事業予定者として当社を代表企業とする2者が選定されております。



ザ・レジデンス新鎌ヶ谷ターミナルフロント(完成予想CG)

マンション販売を推進

当社では、良質な住環境の提供をテーマにしたマンション分譲を推進しております。

人口増加の続く流山市において「サングランデ南流山ザ・コート」の販売を開始したほか、「ルネ柏ディアパーク」の販売を進めました。また、「プレミスタワー船橋」の建設工事を推進いたしました。



サングランデ南流山ザ・コート(完成予想CG)

成田空港の就労人口増への対応

成田空港の機能強化に伴う成田地域の住宅需要拡大に応えるため、分譲マンションや賃貸住宅、生活利便施設の開発・取得を推進しております。成田市市内において、分譲マンション「ルネ成田サングランデ」の販売を開始したほか、「成田市橋賀台戸建事業」を計画しております。



ルネ成田サングランデ(完成予想CG)

流通業

「楽しさ 快適・好感度百貨店」へ全館リニューアルを推進中!

(株)水戸京成百貨店では、昨今の市況・新たなライフスタイル・新市民会館開館等、百貨店を取り巻く商環境の大きな変化を勘案し、水戸本店において2006年の新店オープン後、初となる大規模リニューアルを実施しております。

幅広いお客様層のご来店きっかけとなる「おしゃれで希少性の高いブランド」を誘致し、全館を再構築してまいります。



当日配送サービス「リブリン便」を導入

(株)京成ストアでは、ブルーチップ(株)と連携し、2025年9月より食品スーパー「リブレ京成 青砥駅前店」にて、当日配送サービス「リブリン便」を導入いたしました。

同サービスは店内でお買い上げいただいた商品を購入量にかかわらず、一律220円(税込)で事前に登録されたご住所へ約3時間以内にお届けするサービスです。

これからも、地域にお住まいのお客様にとってより便利な店舗を目指してまいります。



レジャー・サービス業

「CO₂ゼロSTAY®」宿泊プランを開始!

ケイ・アンド・アール・ホテルデベロップメント(株)では、京成リッチモンドホテル東京錦糸町において、ホテル滞在で生じるCO₂排出相当量をカーボン・オフセットできる環境配慮型宿泊プラン「CO₂ゼロSTAY®」のご予約を2025年9月より開始いたしました。



京成リッチモンドホテル東京錦糸町

本プランはご滞在をお楽しみいただけるながら、ホテル滞在で生じるCO₂排出相当量をカーボン・オフセットし、CO₂排出量削減に貢献いただけます。



【特典】オフセットSTAY 証明書(見本)

「サブウェイ イトーヨーカドー曳舟店」をオープン!

(株)イウォレ京成では、フランチャイズ契約に基づき、2025年7月に「サブウェイ イトーヨーカドー曳舟店」を新たにオープンいたしました。

今後も京成グループの事業エリアを中心に、サブウェイを出店してまいります。



サブウェイ イトーヨーカドー曳舟店

他社との連携を通じた、より住みやすい快適な生活圏の創造

●イオン(株)との連携

当社はイオン(株)と2024年10月に、両社の持つ拠点の価値を高めることで地域活性化に貢献することを目的とした資本業務提携契約を締結しており、その第一弾の取り組みとして、新津田沼駅周辺の再整備による新たなランドマーク化を計画しております。当社が保有する「津田沼12番街ビル」をはじめ周辺施設の改修・刷新を実施し、隣接するイオンモール津田沼とイオンリテール(株)が一体的に運営することで、施設価値の向上を図ります。これにより、駅を中心とした回遊性の高い交流拠点を形成し、新たなランドマークとして地域に貢献するステージへと再整備を進めます。

また、「イオン藤沢店」について、店舗建替を含む複合開発に関する共同検討を開始いたしました。その他にも様々な取り組みを検討、実施しております。



駅ナカ・イオン施設内の有効活用

イオンの国内・国外の一部店舗のデジタルサイネージに当社「京成スカイライナー」のCMを放映し、PRに努めました。また、当社の一部駅やイオンの一部店舗にてPRイベントや販促イベント等を実施いたしました。



京成グループで「AEON Pay(イオンペイ)」を導入

2025年8月に、千葉県内の京成グループのタクシー車両約950両と筑波観光鉄道(株)が運営する売店等一部のグループ会社でコード決済サービス「AEON Pay(イオンペイ)」を導入いたしました。



●京浜急行電鉄(株)との連携

当社と京浜急行電鉄(株)は2025年10月に、持続可能な沿線の実現や観光先進国等の実現に向けた空港アクセスの更なる充実等を図ることを目的として、共同検討に関する合意書を締結いたしました。

共同検討項目

- ▶鉄道の運行に関する検討
- ▶両社沿線の観光拠点等への相互送客施策
- ▶株主優待の拡充に向けた相互協力



数字でみるKEISEI

連結決算の概要

(単位:百万円)

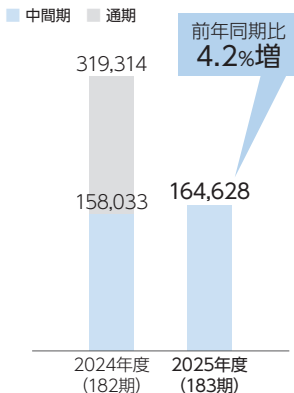
	2023年度(第181期)		2024年度(第182期)		2025年度(第183期)
	中間期	通 期	中間期	通 期	中間期
営業収益	147,949	296,509	158,033	319,314	164,628
営業利益	15,250	25,241	22,079	36,008	20,802
経常利益	27,148	51,591	31,518	61,755	30,196
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	21,092	87,657	21,496	69,961	23,723
総資産	989,540	1,064,202	1,028,165	1,094,120	1,100,954
純資産	432,826	469,157	485,993	524,658	550,472
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,870	60,045	2,537	41,149	5,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,834	28,137	△19,932	△9,245	△37,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,750	△40,264	△24,838	△62,869	17,768
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	41,196	82,328	40,095	51,369	36,679

2025年度 中間期 決算のポイント

- 運輸業において、インバウンド需要増大に伴い成田空港輸送が増加したものの、人件費増や事業再編による一時的な費用増により増収減益となりました。
- 不動産業において、新規賃貸物件の寄与、中高層分譲住宅の引き渡し等に伴い増収増益となりました。

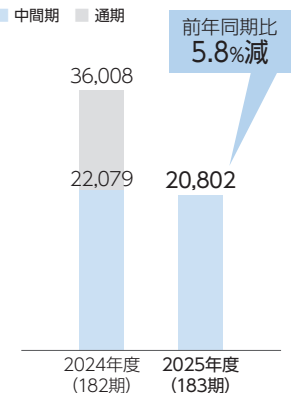
営業収益

(単位:百万円)



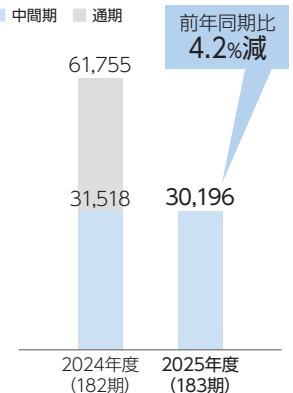
営業利益

(単位:百万円)



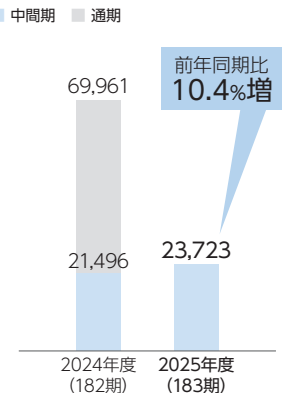
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益

(単位:百万円)



- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 2023年度は、関係会社株式売却益708億円を特別利益に計上いたしました。
3. 2024年度は、関係会社株式売却益531億円を特別利益に、持分変動損失146億円を特別損失に計上いたしました。

セグメント別業績

運輸業

京成電鉄(株)、北総鉄道(株)、京成電鉄バスホールディングス(株)、関東鉄道(株)、京成電鉄タクシーホールディングス(株) ほか

営業収益 1,019億円

前年同期比 4.3%増

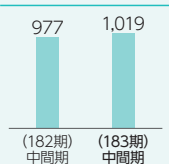


営業利益 123億円

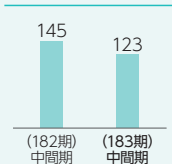
前年同期比 15.7%減



▶ 営業収益 (億円)



▶ 営業利益 (億円)



流通業

(株)京成ストア、(株)コミュニティ京成、(株)水戸京成百貨店、(株)ユアエルム京成、京成リテーリングネット(株) ほか

営業収益 297億円

前年同期比 3.5%増

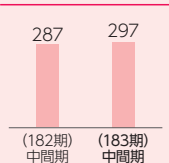


営業利益 2億円

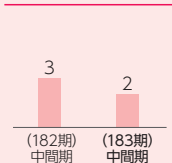
前年同期比 33.1%減



▶ 営業収益 (億円)



▶ 営業利益 (億円)



不動産業

京成電鉄(株)、京成ビルサービス(株)、京成不動産(株) ほか

営業収益 186億円

前年同期比 14.2%増

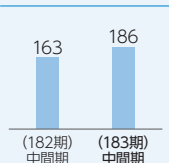


営業利益 65億円

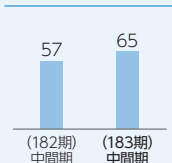
前年同期比 12.5%増



▶ 営業収益 (億円)



▶ 営業利益 (億円)



レジャー・サービス業

ケイ・アンド・オール・ホテルデベロップメント(株)、(株)イウォレ京成、京成フロンティア企画(株)、(株)We京成、関東情報サービス(株) ほか

営業収益 89億円

前年同期比 6.9%増

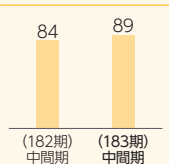


営業利益 6億円

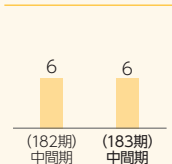
前年同期比 5.9%減



▶ 営業収益 (億円)



▶ 営業利益 (億円)



建設業

京成建設(株)、京成電設工業(株)

営業収益 182億円

前年同期比 18.4%増

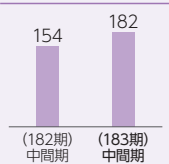


営業利益 10億円

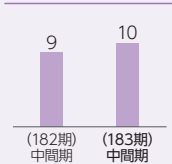
前年同期比 13.2%増



▶ 営業収益 (億円)



▶ 営業利益 (億円)



※事業再編に伴い、運輸業と不動産業の間で資産の一部を移管しているため、前年実績については、移管後の区分に組み替えて記載しております。

持分法適用関連会社の業績は上記のセグメント別業績には含まれておりません。

持分法適用関連会社 (株)オリエンタルランド、小湊鉄道(株)、成田空港高速鉄道(株)、東京空港交通(株)

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

株主優待制度のご案内

年2回送付

基準日 9月末

11月送付

基準日 3月末

5月送付

株主優待発行基準

京成電鉄「松戸線」でもご利用いただけます！

ご所有株式数	株主優待乗車証	株主ご優待券	継続保有特典 フオカード
100株以上 500株未満	回数券式(電車) 1枚	—	—
500株以上 1,000株未満	回数券式(電車) 1枚	—	500円分
1,000株以上 5,000株未満	回数券式(電車) 2枚	1冊	1,000円分
5,000株以上 10,000株未満	回数券式(電車) 10枚		3,000円分
10,000株以上 30,000株未満	回数券式(電車) 20枚		
30,000株以上 ※①～⑦より1つ選択	① 定期券式(電車) 1枚		5,000円分
	② 回数券式(電車) 30枚		
	③ 定期券式(京成バス) 1枚		
	④ 定期券式(京成バス東京) 1枚		
	⑤ 定期券式(京成バス千葉ウエスト) 1枚		
	⑥ 定期券式(京成バス千葉セントラル) 1枚		
	⑦ 定期券式(京成バス千葉イースト) 1枚		

- (注) 1. 上記の株主優待乗車証は、当社線※でご利用いただけます。
※北総線各駅(新柴又駅～印旛日本医大駅間)では、株主優待乗車証はご利用になれませんので、北総線区間の運賃を別途お支払いください。
2. スカイライナー等にご乗車の際は、別途ライナー券をお求めください。
3. 上表③～⑦の定期券式株主優待乗車証は、各バス会社の路線バス(高速バス、コミュニティバス、深夜急行バス、貸切バス、東京BRT等を除く。)でご利用いただけます。深夜バスにご乗車の際は割増分の運賃をお支払いください。
4. 継続保有追加発行は、過去2年間すべての基準日(9月30日・3月31日)において、500株以上を継続して保有し、かつ株主番号が継続して同一である株主様に対し、その期間の基準日に保有していた最少株式数に応じて発行いたします。
5. 30,000株以上保有の株主様は、上記①～⑦から選択が可能です。
6. 株主優待乗車証は再発行いたしません(定期券式の株主優待乗車証をPASMOに移し替えた後、紛失又は障害により再発行する場合を除く。)
7. 他の交通機関への振替輸送のお取扱いはいたしません。

株主ご優待券(1,000株以上保有の株主様に発行)一部内容のご紹介

スーパー銭湯「笑がおの湯」

入館料金最大400円割引 10枚



京成ストア「リブレ京成」

お買物代金2,000円(税込)ごとに100円割引 20枚



筑波山ロープウェイ・ケーブルカー

乗車料金の20%割引・お土産品の10%割引 4枚
※直営各店舗300円(税込)以上



水戸京成ホテル・京成ホテルミラマレー

宿泊料金の50%割引・レストラン飲食料金の10%割引 8枚



「PRONTO」
(京成金町駅店京成幕張本郷駅店ららテラスTOKYO-BAY店海浜幕張店)

リトルマーメイド
(千葉中央駅店堀切菟浦園駅店梅島駅前店)

1会計1,000円(税込)以上のご飲食代金より100円割引 10枚



ユアエルム八千代台店

駐車場利用料金2時間無料サービス 4枚



※詳細な利用条件等は、「株主ご優待券」をご確認ください。

株主優待乗車証と各種商品の交換可能制度

京王高尾山温泉 / 極楽湯 タオルセット付特別ご入館券

回数券式(電車) 2枚につき1枚



京成ローザ[®] 映画鑑賞券

回数券式(電車) 2枚につき1枚



京成バラ園 ローズガーデン入園券

回数券式(電車) 2枚につき1枚



秩父フリーきっぷ (デジタル企画乗車券)

回数券式(電車) 3枚につき1枚



太宰府・柳川観光 きっぷ引換券

回数券式(電車) 4枚につき1枚



高野山・世界遺産 きっぷ引換券

回数券式(電車) 4枚につき1枚



高速バス乗車チケット A

回数券式(電車) 6枚につき1枚

『東京ディズニーリゾート[®]』・東京・横浜～大阪・神戸」線
「京都～上野・『東京ディズニーリゾート[®]』」線

高速バス乗車チケット B

回数券式(電車) 3枚につき1枚

「土浦・つくば～成田空港」線

高速バス乗車チケット C

回数券式(電車) 2枚につき1枚

「成東・東金～東京駅(バスターミナル東京八重洲)」線
「銚田・麻生・佐原～東京駅」線

高速バス乗車チケット D

回数券式(電車) 2枚につき1枚

「鹿島～『東京ディズニーリゾート[®]』・東京テレポート駅」線
「水戸・赤塚・石岡・つくば～『東京ディズニーリゾート[®]』」線



※詳細な利用条件等は、株主優待ご送付時のご案内をご確認ください。

- (注) 1. お受け取りいただいた株主優待乗車証(回数券式(電車))の一部のみを交換することも可能です。(例：回数券式(電車)を10枚交付の場合、うち8枚で太宰府・柳川観光きっぷ引換券2枚に交換、残りの2枚を回数券式(電車)としてご利用)
2. 定期券式は、回数券式(電車)30枚に換算して交換いたします。定期券式からの交換をご希望の場合、一部のみの交換はできかねます。

次回、2026年5月送付分(同年3月31日現在の株主様が対象)より交換可能な商品を追加いたします！

京浜急行電鉄 みさきまぐろきっぷ

回数券式(電車) 4枚につき1枚



みさきまぐろきっぷ

回数券式(電車) 2枚につき1枚



マザー牧場 入園券

回数券式(電車) 2枚につき1枚



高速バス乗車チケット

回数券式(電車) 6枚につき1枚

「大和西大寺・奈良・天理～横浜・東京・『東京ディズニーリゾート[®]』」線

鋸山ロープウェー 往復乗車券

回数券式(電車) 1枚につき1枚

会社情報

▶ 会社の概要 (2025年9月30日現在)

創 立 1909年6月30日
本 社 千葉県市川市八幡三丁目3番1号 〒272-8510
047-712-7000 (総務部総務・法務課)
資 本 金 36,803,841,088円
主な事業内容 鉄道による一般運輸業／土地・建物の売買及び賃貸業
営 業 キ 口 鉄道178.8km
車 両 数 鉄道客車762両
駅 数 91駅
従 業 員 数 2,488名

▶ 株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 3月31日
中間配当金受領株主 9月30日
定 時 株 主 総 会 毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町 1-1

0120-232-711

受付時間
9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

【郵送先】
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上 場 取 引 所 東京証券取引所(プライム市場)

公 告 の 方 法 電子公告により行う

※ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に公告いたします。

▶ 役員一覧 (2025年9月30日現在)

代表取締役会長	小林 敏也	取締役	富塚 昌子
代表取締役社長 社長執行役員	天野 貴夫	常勤監査役	河角 誠
取締役 常務執行役員	持永 秀毅	常勤監査役	北田 良仁
取締役 常務執行役員	岡 匡一	監査役	小林 健
取締役 常務執行役員	清水 健司	監査役	吉田 謙次
取締役 常務執行役員	吉川 邦彦	監査役	手島 恒明
取締役 執行役員	延命 誠	執行役員	四ツ井宏行
取締役 執行役員	橋本 武	執行役員	長塚 健治
取締役	栃木庄太郎	執行役員	佐々木 亨
取締役	菊池 節	執行役員	宮路 慎一
取締役	芦崎 武志	執行役員	川崎 治
取締役	網谷多加子	執行役員	多田 和義
取締役	中島 明子	執行役員	本田 哲也
取締役	石内 俊行	執行役員	古屋 彰洋

▶ 株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数 1,500,000,000株
発行済株式の総数 517,233,555株
株 主 数 35,727名

▶ ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 支払開始日から満3年を経過していない未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

▶ 配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認にご利用いただけます。



環境に配慮した
FSC®認証紙と
植物油インキを
使用しています。